

## お掃除のヒント

### 洗剤希釈のしかた

洗剤は濃すぎても薄すぎてもいけません。決められた希釈倍率を守って作業を行ってください。希釈方法は以下の通りです。

#### ◆例えば 50 倍に希釈する場合◆

洗剤 1 に対して水 49 の割合で混ぜ合わせます。

5 リットルの洗剤を作る場合は、洗剤 100cc をバケツに入れ、水を 5 リットルの所まで入れると、ちょうど 50 倍希釈になります。

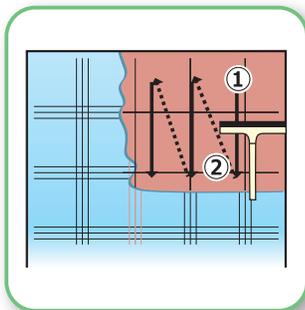


### 吸水バキュームが無い場合の汚水回収のしかた

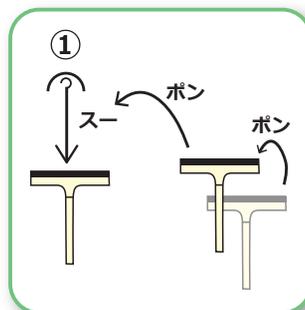
汚水を回収する方法はいくつかあります。より効率的に回収するには吸水バキューム（ウエットバキューム）を使用することをお勧めします。

これらが無い場合には、下記の道具を用いて作業すると効率よく回収することができます。

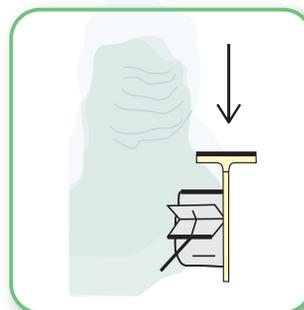
スクイージーまたはフロアドライヤー、フロアワイパーなどの名称で呼ばれるゴムへらのついたもので、自動車のワイパーと同じように水をかき取る道具です。これと文化ちりとりや鉄道ちりとりなどを用いることで、汚水を回収します。（清掃のプロが行っている方法です）



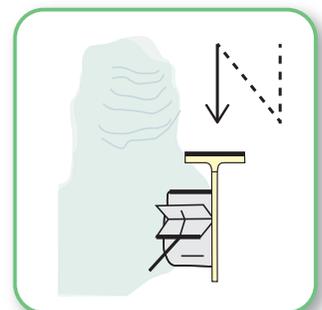
(1) 矢印の様に手前に引くようにして汚水をかき取ります。



(2) 手前に引き寄せた後、ほんの少し前に叩きつけるようにしてから、次の位置へ移動します。



(3) 汚水をあらかじめ 1ヶ所に集め、右端から文化ちりとりに入れていきます。文化ちりとりは汚水が入ると同時にちりとりの口を持ち上げます。



(4) 次の列に移ってスクイージーで汚水を足下に引き寄せます。引き寄せた汚水を文化ちりとりですくい上げ、これを繰り返しながら汚水を回収します。

## モップの洗い方・絞り方



(1) 流水中でモップを流しの底につけて、軽く上下させて汚れを流します。



(2) モップを中心付近から左右へ分けます。



(3) 左右へ分けたモップを両手で持ち、両手の親指を内側へ押し込む様な感じで絞ります。<矢印の向きに絞る>

※以上 (1) ~ (3) を数度繰り返して、絞ったときに出る水がきれいになったら、(3) の作業を繰り返して充分に絞ります。また、モップを素手で絞る場合は、モップの糸の中に鋭利なモノが入っていないか確認してから行ってください。

## 水拭きのしかた

水拭きを 3 回するなど回数を指定した作業がありますが、応援を頼んで 3 名で行った方が効率的です。



1 番目が水拭きを始めます。2 番目、3 番目はそのまま待機しています。



1 番目の後を追うようにして 2 番目が水拭きを始めます。3 番目はそのまま待機しています。



1 番目・2 番目の後を追うようにして 3 番目が水拭きを始めます。  
1 番目の人は 1 回目の水拭き  
2 番目の人は 2 回目の水拭き  
3 番目の人は 3 回目の水拭き  
この様な流れになります。



1 番目のモップが汚れてきたら 2 番目のモップを一番目の人が使い、3 番目のモップを 2 番目の人が使います。3 番目の人は新しいモップを使います。1 番目が使っていたモップは、洗いに回します。  
モップ交換の目安は 10 ~ 20m<sup>2</sup> 毎です。  
教室の場合には、1/3 程度拭いたら交換します。

以上、3 番目が一通り水拭きを終わるまで、上記の手順を繰り返し行います。モップは汚れたまま使用すると、汚れが残るので交換するよう心がけてください。